

# 京都市体育館、市民スポーツ会館の運営について

京都市体育館及び市民スポーツ会館は、市内有数の規模を誇る体育館として、京都ハンナリーズのホームゲーム、各種競技大会及び一般利用まで、市民の皆様に幅広く利用されています。

## 京都市体育館、市民スポーツ会館の収入と支出（令和3年度）

### <料金体系(主なもの)>

#### ○京都市体育館

アマチュア大会入場料を徴収しない場合 土日祝 128,840円/1日(8時~22時)

その他入場料を徴収する場合 土日祝 1,879,410円/1日(8時~22時)

#### ○市民スポーツ会館

アマチュア大会京都市体育館との併用利用 土日祝 43,780円/1日(8時~22時)

一般利用 平日 1,570円/1時間 土日祝 1,880円/1時間

### <施設稼働率>

○全施設平均 85.5%

### <支出>

年間総額 1.1 億円

いずれも概数  
10円単位で四捨五入

利用1時間当たりの運営経費(1施設あたり) 13,290円 (A)

管理運営費 13,260円	改修費 30円
------------------	------------

### <収入>

年間総額 8,041万円

利用1時間当たりの  
収入(1施設あたり) 9,670円 (B)

年間総額 3,000万円

利用料 9,670円 (72.8%)	(A) - (B) <u>差額 3,620円</u> <u>(27.2%)</u> ← 市民の税金 (公費)で負担
--------------------------	---

- 公費負担がない場合の単純な試算を行うと、利用料は現行の1.4倍の額が必要となります。
- 施設を利用しない方も含めた市民の負担(公費負担)により、現行の利用料で施設が運営されています。

施設の運営費は、利用者の負担(施設利用料等)と公費負担(市民の皆様に納めていただく税金)などにより賄われています。

施設運営の現状について「見える化」を進め、施設の状態に応じた収支改善の取組(料金値上げ(受益者負担の適正化)、維持管理コストの見直し、施設の目的を踏まえた稼働率の向上等)を進めてまいります。